上尾市雨水排水流出抑制施設の設置の基準に関する条例をここに公布する。

令和7年6月24日

上尾市長 島山 稔

上尾市条例第22号

上尾市雨水排水流出抑制施設の設置の基準に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、雨水流出量を増加させるおそれのある行為に対する必要な規制を行うことにより、浸水被害の発生及び拡大を防止するため、開発区域における雨水排水流出抑制施設の設置の基準に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 雨水流出量 地下に浸透しないで他の土地へ流出する雨水の量をいう。
- (2) 雨水排水流出抑制施設 雨水を一時的に貯留し、又は地下に浸透させる機能を有する施設であって、浸水被害の発生及び拡大の防止を目的とするものをいう。
- (3) 開発区域 都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第13項に規定する開発区域をいう。
- (4) 開発行為 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為をいう。

(雨水排水流出抑制施設の設置)

第3条 開発区域の面積が0.05ヘクタール以上1ヘクタール未満の開発行為をしようとする者は、雨水排水流出抑制施設の容量が1ヘクタール当たり500立方メートルの雨水排水流出抑制施設を設置するものとする。ただし、規則で定める開発行為及び非常災害のために必要な応急措置として行う行為については、この限りでない。

(委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和7年7月1日から施行する。

(適用区分)

2 第3条の規定は、この条例の施行の日以後に申請される開発行為の許可について適用し、同日前に申請された開発行為の許可については、なお従前の例による。